

令和 5 年度 堺市障害支援区分認定審査会委員総会 議事録

1 開催日時

令和 5 年 4 月 7 日（金）午後 2 時から午後 3 時

2 会場

堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）3階 文化交流室 A・B・C

3 出席委員（敬称略、50 音順）

石田委員、上田委員、大里委員、尾西委員、茅原委員、阪田委員、鹿岡委員、清水委員、高橋委員、武井委員、橘委員、田中（啓）委員、長澤委員、西川委員、野崎委員、伯井委員、橋本委員、原田委員、堀田委員、松阪委員

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 案件 1「会長の選出等について」
- (3) 案件 2「堺市障害支援区分認定審査会の傍聴に関する要綱（案）について」
- (4) 堺市障害支援区分認定審査会の審査判定実績について
- (5) 質疑応答、意見等

5 議事内容（要点記録）

- (1) 案件 1「会長の選出等について」
会長及び職務代理者としての副会長 2 名を決定した。
- (2) 案件 2「堺市障害支援区分認定審査会の傍聴に関する要綱（案）について」
本会における「堺市障害支援区分認定審査会の傍聴に関する要綱」を案のとおり決定した【資料 3】。
- (3) 堺市障害支援区分認定審査会の審査判定実績について（事務局より報告）
【資料 4】【資料 5-1】【資料 5-2】
 - 令和 4 年度は審査件数 2,929 件、審査部会（※1）開催数は 196 回であった。
 - 更新申請では、障害支援区分認定有効期間の影響により、平成 18 年度を始期とした 3 年ごとに審査件数が増加している。
 - 支給決定者数と区分認定者数は、過去 3 年間、増加傾向にある。
 - 令和 2 年 10 月から 1 年間の審査判定結果の分布は、全国平均と大きな乖離はなく、標準的な審査判定結果が示されている。
- (4) 質疑応答、意見等
【委員】「審査判定結果の分布」の報告の中で、二次判定において、一次判定結果より上位区分もしくは下位区分へ変更した割合（変更率）が 50%を超える自治体もあるとのこと

であったが、その市町村について何か情報はあるか。

【事務局】具体的な市町村名まで持ち合わせていないが、都心部ではなく過疎地域であったと記憶している。

【委員】調査がきちんとなされていなければ、そのように二次判定で変わる可能性が高い。堺市は、委員の平準化や、審査の均等が確保されていると思うが、調査についても均等化してきたということが考えられる。

【委員】審査件数が3年ごとに増加する中で、次の令和6年度の審査件数はどれくらいになるか。また、審査部会が14部会から16部会に増えたが、今後さらに部会数を増やす必要性についてはどのように考えているか。

【事務局】令和6年度の審査件数は3,500件を超える見込み。条例を改正し、現在の委員定数が80名であるのに対し、委員数は65名のため、部会を増やすこと自体は可能であるが、委員の確保が課題となっている。事務局としても、引き続き各推薦団体と協議を重ね、また、庁内でも検討及び調整を行って参りたい。

【委員】追加の予算のことも事務局は頭の隅に置いておいていただきたい。審査件数が増えることで、詳しい審査ができないということになりかねない。それにより堺市に住む障害者の方々が被害を受けるということは避けなければならない。

【委員】委員の皆様も審査件数のこと等で何かあれば、事務局にお知らせいただきたい。会長・副会長含め、一緒に考えていきたい。また、今後も制度の改正が予想される。堺市からも国に対して声を上げるなど要望をしていきたい。

6 資料

- ・ 資料1 令和5年度 堺市障害支援区分認定審査会 委員名簿
- ・ 資料2 令和5年度 堺市障害支援区分認定審査会 部会一覧
- ・ 資料3 堺市障害支援区分認定審査会の傍聴に関する要綱（案）
- ・ 資料4 堺市障害支援区分認定審査会 審査判定実績について
- ・ 資料5-1 審査判定結果の分布（堺市）
- ・ 資料5-2 審査判定結果の分布（全国）

【用語説明】

（※1）審査部会：障害支援区分認定審査部会。障害者総合支援法施行令第8条第1項に規定する合議体をいう。